



特集

食品安全文化の普及・実現に向けて

近年、食品にかかわる事故が続いている。健康や命に直結する食品安全の問題は消費者の不安につながりやすく、事故の発生は製造や販売を行う企業や食品業界全体にとって大きな事業リスクとなる。トラブルの発生を抑え、食品安全を保っていくためには、組織全体で食の安全に対する価値観などを共有する食品安全文化の醸成が重要なポイントだ。

今号のISO NETWORKでは、食品安全文化の普及・実現に向けて、社会全体でどのように取り組んでいくべきなのか、特に産業界、消費者はどのように行動するべきなのかを考察するとともに、食品安全文化の醸成において、標準化・規格化や第三者認証の仕組みがどのように機能するのかを紹介する。また、生産者が取り組む食品安全として、農産物の安全に寄与するGAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理) の取り組みや、事業リスクの低減、生産性の向上に役立つ食品安全マネジメントシステムについて通観し、併せてそれらを経営改善に有効活用していく方法も示していく。